

第3回 学校運営協議会だより

令和4年10月21日
横浜市立山王台小学校
校長 遠藤 清美

10月14日(金)に、第3回目の「学校運営協議会」が行われました。その際にいただいた意見などを紹介させていただきます。

1 令和4年度 学校運営協議会委員

2 第3回 学校運営協議会の内容

- ①学校の様子(行事)について ②全国学力・学習状況調査について
- ③分科会・・・本校の中期取組目標の三つのプラン、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」について、子どもの変容、課題などについて意見交換。

(1) 分科会における話し合い

ア 確かな学力

- ・昔と今では指導方法が違う。英語も学習したが、社会で通用しなかった。
- ・今の子どもは落ち着きがない。どのように対処しているのか。
- ・子どもの特性はそれぞれで、毎日の指導で大変な場面は多い。
- ・学習内容に興味があることには取り組むが、興味がないことには取り組まない。
- ・低学年の子どもの中には、問題における自分の解答が不正解だと、そこから何もしなくなる子がいる。
- ・失敗の経験が不足している。周りの大人がもっと環境をつくるべき。

- ・注意をする先生が少ない。同じ立場で怒ることが必要。
- ・子どもたちの気持ちの切り替えに時間がかかる。
- ・授業中の離席や勝手なおしゃべりに対して、時代が違うから注意の仕方も変わってくる。
- ・本校は風通しのよい職場環境であり、情報共有はスムーズに行えている。
- ・勉強は一生し続けるもの。そのためには体づくりが大切。

イ 豊かな心

- ・子どもは素直であるが、心が育ってない。
- ・気持ちが昂ると相手を傷つけてしまう。
- ・相手の気持ちを汲み取る力が弱い。家庭だとそれを育てるには弱いので、集団がある学校で育てることが大切。
- ・地域で挨拶をしても返ってこない子は、学校でどのようにしているのか。自分の気持ちの弱さも関係している。
- ・地域、家庭と連携して子どもを育てていきたい。
- ・自分を認めてもらいたい欲がある。家庭で満たされていない可能性もある。
- ・ネットを使う時間が多い、悪い、傷つける言葉を知り、友達に使ってしまう。
- ・地域の願いとして、子どもをたくさん褒めて育てて欲しい。

ウ 健やかな体

- ・体力テストの結果が市の平均より低いことは心配。
- ・コロナによって、子どもたちが体を動かす機会が減っている。
- ・中休みに外遊びをする子も多いし、教師も一緒に遊んでいる姿はよい。
- ・中休みの30分を体力づくりに活用した方がよい。
- ・放課後も多くの外遊びをしているが、体力向上には結びついていない。
- ・給食はあまり食べていない。黙食なので、おかわりがしづらい。
- ・高学年の女子など、人目が気になってあまり多くは食べない。
- ・朝食を食べて来ない子、給食をあまり食べない子は、外遊びもあまりしない傾向がある。
- ・給食の残量について、和食で食べたことがないものを食べたがらない。食の幅が狭い。

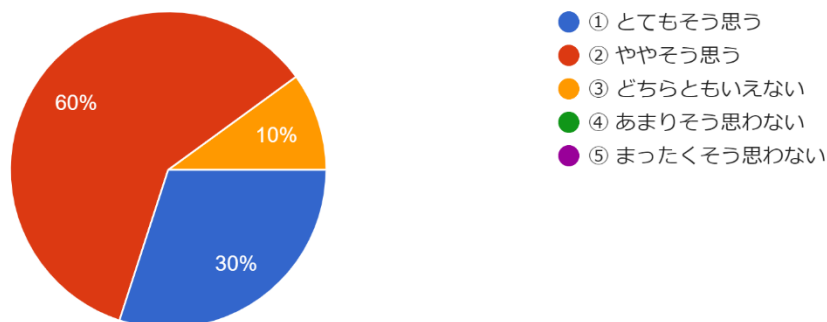


(2) 委員の皆様のアンケート結果（分科会を振り返って。）

- ・先生方の努力が児童に伝わるように思います。
- ・先生方とお話ができ、日ごろの生活状況が聞けたので、有意義な時間でした。
- ・「食」「自主学习」「時間の使い方」など、学校だけでなく、各家庭でも意識しないと改善しないので、より多くの保護者に意識してもらうことが大事だと感じました。
- ・今の保護者の現状を聞き、「これからは保護者の教育もしていかななくては。」と、過去に聞いたことを思い出しました。
- ・失敗を恐れず、積み上げ、経験を増やしていけばよいというのは大人の発想。子どもにとって失敗は恥と思うのは当然。どのように失敗を評価していくのが重要だと思います。
- ・先生たちは本当に大変だと改めて思いました。
- ・もう少し先生とのコミュニケーションをとっていきたいです。
- ・自己肯定感を育てることが大事だと思いました。それには、親の関わりが重要ではあるが、学校の先生や、地域の大人が認めてあげる環境を作ることが必要だと思いました。

(3) 教職員のアンケート結果（抜粋）

分科会は充実した話し合い（内容）であった



- ・地域の方のお話も聞くことができ、学校からは見えない登下校の様子も知ることができました。
- ・実現可能な方策を決めるなら視点を絞る、そうでないなら情報交換にするなど、目的をはっきりさせた話し合いにすると、より充実すると思います。

- ・山王台小学校の良さや課題を共有できたことで、保護者、地域、学校それぞれで取り組むべきことが分かりました。これから手を取り合い、協力していこうという気持ちを高めることができました。
- ・地域の方との交流の結果は、子どもたちや家庭への発信も必要だと思います。地域で子どもを育てていくためには、家庭にも知ってもらうことが必要だと思います。
- ・話し合いの内容は意義あるものでしたが、時間が不足して、十分な話し合いができなかったように感じました。委員の集合を30分ほど早めて、職員との懇談時間を増やせばよいと思います。また、長期休業期間に懇談を設けるという方法もあると思います。いずれにせよ、学校運営協議会を教職員が自分事と捉えるよい機会だと考えます。
- ・地域の方と顔を合わせて話す機会が普段ないので貴重な体験でした。
- ・みなさんが進んで話し、円滑な話し合いになったと思います。
- ・時間的には今回の30分ぐらいが、もう少し話せたらと感じるくらいでちょうど良かったです。長いと少ししんどかったかもしれないです。
- ・中期取組目標実現に向けた3つのプランを元に話し合ったのは良かったと思います。健やかな体の育成プランでは、いくつか話題はありましたが、特に給食の話題となった時に調理員さんが参加されていたので、話し合いが深まりいろいろな立場の方が参加することの良さを感じました。
- ・教員と学校運営協議会の外部の方との情報交換ができる数少ない場面だったと思います。情報を共有して、同じ方向を見ながら活動するために必要なことだと感じました。



今回の協議会では、委員の皆様と本校教職員との間で積極的な意見交換が行われ、教育活動のいろいろな場面における成果や課題が確認できました。

本校の中期取組目標の三つのプランの達成に向け、今後も保護者や地域の皆様と共に、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていきます。

